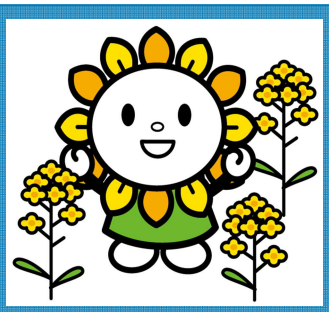

自治会ニュース in 尾張旭市

身近な自治会・町内会ニュースをお知らせください

平成３０年３月
第 １８号

発行 / 尾張旭市　市民活動課　　〒488-8666 尾張旭市東大道町原田 2600－1
URL　http://www.city.owariasahi.lg.jp/　　E-mail　siminkatudo@city.owariasahi.lg.jp
電話 (0561)76-8126(直通)、(0561)53-2111(代表) 内線 371,372
FAX (0561)52-0831

特 集

1. 自治会等活動促進助成事業の中間報告会＆交流会 がありました

１月１３日中央公民館にて、平成２９年度自治会等活動促進助成事業の中間報告会兼交流会が開催されました。中間報告会では平成２９年度、自治会等活動促進助成事業として選定された９団体の自治会等から、事業実施（実施中）の報告があり、参加された皆さん（事業申請団体の方を含め約５６名）は熱心に耳を傾けていました。

その後に開催された交流会では、各発表団体のブースを設置し、各ブースにおいて質疑応答や助成事業を通じて得たノウハウ等を伝えたり、歓談も活発に行われたりと、様々な団体間で交流を深めていました。

2. 自治会等活動促進助成事業の紹介

平成２９年度は、９団体の自治会等から環境・防災・健康・交流等の様々な分野から申請がありました。事業内容の紹介をしますので、地域活動の参考にしてください。

瑞鳳連合自治会

自治会加入促進キャンペーン　－一緒にまちづくりをしませんか！！－

自治会員を増やす、地域の様々な活動を知ってもらうことを目指して、手渡しでチラシを配布したり、今年からは、「瑞鳳こども会議」も始めました。このことで、地域の人たちと子供たちの関係が非常によくなりました。新しい若い力による「おやじの会」も発足２年目になりますが、みなさんからひっぱりだこで、地域の活性化に繋がっています。
多くの方たちとまちづくりをするために、工夫しながら加入促進を進めています。

桜ヶ丘東自治会

地域の自主防災体制の構築（２年目）

１０月に行ったセーフティリボンの安否確認訓練は、昨年リボン率９３％でしたが、今年は９９％でした。
防災備品の整備も行い、６月には給水体験を実施。９６名の参加がありました。また、自治会の見える化を図り、インターネットを使って自治会員限定の情報共有エリアを構築しました。それと共に、課題解決のため「防災オープン会合」も行い、地域の自主防災の構築を図りました。

旭丘連合自治会

３R推進事業

資源ごみの回収、ポスターコンクール、エコフェスの３事業を実施してきました。資源ごみの回収については、家庭ごみの減量を目的として行い、さらなる減量のために雑紙に着目して啓発活動を進めています。ポスターコンクールは、４年生から対象でしたが３年生まで枠を広げて行い、子供と親が３Rについて考えるきっかけづくりになったと思います。
また、がおかエコフェスは今年６５０名参加があり、環境課と共に連携をして啓発を行いました。今後も「エコのまち旭丘」をアピールしていこうと思います。

本地ヶ原連合自治会

校区防災力強化事業（その3） 3年目の展開
町内会ごとの実情に基づく具体的な取り組み

独自の防災手帳を作成し、配布。5月には、子ども会とコラボしてお笑いステージと防災クイズを行いました。さらに、消化栓パイプスタンド講習会も6回行いました。女性や子どもの参加も多く見られ、今後も実施していきたいと思います。また、体験防災広場にて、防災力向上を呼びかけました。今年は、新しく参加した町内会も増え、また学校での呼びかけを行った結果、中高生の参加も増えました。中高生の参加は活気が出ると、参加者にも大変好評でした。

旭台自治会

健康体操で“地域交流・世代間交流”の活発なまちづくり

人にやさしいまちづくりをテーマとして活動しています。わたしたちの願いは健康体操をしている高齢者とその子供たちが上手に融合して、高齢者にとっては交流の場として、子供たちにとってはよい思い出になればという思いで、まちづくりをしてきました。また、健康体操で使用する曲と小学校が使用するパレードの曲を共通化させることで、高齢者と子どもが合同演奏・体操できることを期待して、楽曲の提供、楽譜づくりを進めました。

松ヶ丘町内会

「健康寿命志向まちづくり」活動継続事業

ノルディックウォークでは、様々な季節を感じてもらい堪能して頂きました。らくらく筋トレ体操は、人数が増え、うれしい悲鳴をあげています。その他、グランド・ゴルフや健康講座も行い、参加者も増え、健康寿命や生活習慣病改善に繋がっています。また、地域住民が気軽に立ち寄れる健康サロン・交流サロンの開設をし、たいへん有意義な時間を過ごす事ができました。本事業は今回で3年目となりますが、今後も健康的で明るく元気で健やかな町づくり活動を続けていこうと思います。

第二白山町内会

第二白山防災協力隊

今年は防災倉庫や備品の購入に加え、防災協力隊も本格的に始動。
遠い場所にあった避難場所を最寄に移動したり、独自に防災支援カードを作成して全戸に配布しました。また、支援員と要支援者との面談を行い、具体的な避難方法を確認しながら訓練をしたところ、実際に車椅子の方の困りごとをその場で解決し、共助の取り組みができました。他にも、防災の意識を高めるため、青空防災講習会も行いました。今後も、防災協力隊のスキルアップ等を行っていきたいと思います。

長坂町第１南山町内会

ふれあい活動を通じて地域のより一層の活性化をめざす

日本舞踊の動きを使った健康体操や、囲碁、夏祭り、スポーツ吹矢など、様々な活動を行ってきました。いろいろな催しをやっていますが、次のリーダーの声かけをしていきたいと思います。子供たちと交流の場を作って地域の親睦を深めていきたいと思います。

山の手自治会

未来を見据えた自治会活動持続事業

将来を見据えて若い世代に呼びかけ、自治会活動を行いました。実施内容は、地域の現状や自治会活動の把握のための役員勉強会の開催や、三世代で楽しめることと題して夏祭り、盆踊り大会、敬老ふれあい会などを行いました。その結果の成果を実感でき、この事業を通じて新しい出会いと交流がはじまりました。さらに、発展させるため、今後も取り組んでいきます。

3. 中間報告会兼交流会の講評・総評

中間報告会兼交流会に参加された講師2名の方の講評・総評の概要を紹介します。

中間報告会講評

特定非営利活動法人　地域福祉サポートちた　理事　岡本一美　氏

9地域の取り組みをお伺いして感じたことが5つあります。
1つ目は、「地域交流の場」です。サロンや集会所など、地域のいろいろな方達が自由に行ったり来たりできる場を設定されて、そこからいろいろなものが生み出されています。みなさんが集まる場だからこそ聞こえてくることがあると思うので、そうしたものを大事にして地域づくりの課題に取り組んでほしいと思います。
2つ目は、車椅子の方に対して、実際に共助の取り組みになったというお話しがありました。具体的にここが困っているという方がいて、私だったらここが手伝える、そういう繋がりを深めていく活動になっていることはすばらしいと思いました。
3つ目は、桜ヶ丘東自治会のグーグルドライブを使って情報発信するというお話しがありましたが、事業を行い、やってみたらこうだった、これではだめだった、次に取り組むという、PDCAサイクルがしっかりやられていることです。このようなPDCAの取り組みをもっとしていってほしいと思いました。
4つ目は、それぞれ地域ビジョンをもち、エコの町、地域のみんなが繋がりを持つ町、わたしの町をこうするよというように、みなさんの活動がどこに繋がり、目的はなにか、そのビジョンがでていることがすばらしいと思いました。
最後の5つ目は、現状把握をしっかりされ、課題を絞り込み、住民自身が課題を把握し取り組みを考える。この地域マネージメントを、9地域のみなさんが実践されているというのを改めて実感でき、尾張旭はすばらしいと思いました。

学校法人菊武学園　名古屋産業大学　　伊藤雅一　氏

9つの活動に共通して言えるのは、地域の課題の解決に向け、共助の取り組みができていたことです。個別の課題としては、防災、健康づくりなどありますが、これらの課題は9つの地域だけではなく、市内の自治会、町内会共通の課題であると思います。そういった意味でみなさんの取り組みは一つの先導的な事例になるのではと思います。今年度は、1年目の事業発表や、3年間取り組んだ成果を発表していただいたところもございました。初年度は、地域の課題に向けていくつかの事業を実施することでスタートさせ、2年目3年目になると事業の充実を図る、事業を組み合わせて共助の仕組みを作っていくというかたちで展開されておりますが、他にも、まずは共助の事業をしてみて、2年目3年目は仕組みづくりに変わっていくという方法もあります。
今年でこの事業が9年目になり、いろいろな事業に皆さん取り組んでいただいた成果、事業はもちろんですが、共助の仕組みがこの地域で根付いてきたのではないかと思います。
来年は10年目になりますが、共助から地域協働への発展をめざす段階にきているのではないかと思います。本日、旭台自治会が世代間交流を協働しないかとう提案があり、旭丘連合自治会からは、雑紙の分別・リサイクルの発表がありましたが、これは行政が直面している課題でもあります。今後は地域をより住みやすくするために共助の事業、仕組みが必要になると思いますが、せっかくいろいろな蓄積ができてきたので、その取り組みを一つの地域だけではなく地域間で共有する、あるいは地域と行政が協働してより全市的に広めていくことが必要ではないかと思いました。そういった意味で今日発表していただいた1つ1つの取り組みというのは、尾張旭にとって貴重な財産になると考えます。

中間報告会兼交流会総評

学校法人菊武学園　名古屋産業大学　　伊藤雅一　氏

先ほどの、発表会の最後に共助から地域協働への発展ということをお話させていただきました。みなさんの取り組みは具体的で、地域のモデルになるような内容だと考えています。例えば皆さんの取り組みを生かして、健康に取り組んでいるモデル地域は旭台自治会です、自治会加入促進は瑞鳳連合自治会です、というように示すことができたら、加入促進に悩んでいたら瑞鳳連合自治会の取り組みを参考にしようか、あるいは話を聞きに行こうか、という動機付けができるのではないかと考えています。
地域活動において「協働契約」という言葉がありますが、一部の地域で導入が進んでいます。分かりやすく言うと、住人と行政のパートナーズ契約になります。皆さんの取り組んでいる内容は、その地域の良さを高めていこう、あるいは、その地域の課題を解決していこうというものなのですが、それは他の地域でも共通している課題です。みなさんの取り組みを全市的に広めていこうと思うと、行政とのパートナーシップが非常に重要になります。ただ、協働契約というのは、契約の内容など、議論があります。なので、協働契約を結ぶというよりは、どのように自治会間ですばらしい取り組みを広めていくか、行政との間でパートナーシップの関係を築いていくかというところでいろんな自治体で試行錯誤が繰り返されています。そういった意味では、この9年間、尾張旭市はこの助成事業を作って、すばらしい共助の仕組みを地域に根付かせてきました。それが個々で終わってしまってはもったいないと考えています。皆さんの取り組みが地域の財産として蓄積され、それが地域に広がっていく、そのように今後の助成事業も発展していけばよいのではと考えています。

町内会･自治会の皆様へ防犯についてのお知らせ

日ごろは、まちづくりにご尽力いただきありがとうございます。

町内会、自治会の皆様に防犯活動の参考にしていただくため、本市の犯罪発生状況をお知らせいたします。

３月末現在の市内被害状況は、昨年に比べ大幅に減少しています。特に自動車関連窃盗の自動車盗が 3 件（前年比－2 件）・部品ねらい 1 件（前年比－12 件）・車上ねらい 1 件（前年比－15 件）と減少しています。

また、自転車盗も半減していますが、駅・店舗駐輪場といった場所での被害が多く、被害の約 7 割が無施錠ですので、必ずツーロックをするようにしましょう。

一方、住宅対象侵入盗の空き巣・忍込みがやや増加傾向にあります。

● 被害に遭わない防犯対策を！！

★ 昼夜を問わず各出入口は確実に鍵をかけましょう。
★ 外出時は、隣近所に一声かけておきましょう。
★ 窓には防犯フィルム、補助錠などを活用しましょう。
★ 駐車場にはセンサーライト、警報機等を設置しましょう。
★ 自動車関連窃盗の被害は午後 11 時頃から午前 4 時頃までの間が大半です。
★ 車を離れる際は、車内の荷物をすべて持ち帰りましょう。
★ 明るく管理された見通しのよい駐車場を選びましょう。

1 市内校区別犯罪被害情勢(平成 30 年 3 月末現在)

校区別	旭	城山	渋川	白鳳	本地原	瑞鳳	東栄	旭丘	三郷
刑法犯総数	8	14	9	15	10	7	5	11	17
前 年 比	−12	−5	−3	+1	−12	−5	−23	−8	−16

2 市内校区別犯罪発生状況(平成 30 年 3 月末現在)

区分	刑法犯総数	住宅対象侵入盗			自動車盗	部品ねらい	車上ねらい	自転車盗	オートバイ盗	ひったくり
			空き巣	忍込み						
旭	8	1	1	0	0	0	0	2	0	0
城山	14	3	2	1	0	0	0	4	0	0
渋川	9	0	0	0	1	0	0	1	0	0
白鳳	15	0	0	0	0	0	0	4	1	0
本地原	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0
瑞鳳	7	0	0	0	2	0	1	0	1	0
東栄	5	1	1	0	0	0	0	1	0	0
旭丘	11	6	5	1	0	0	0	0	0	0
三郷	17	0	0	0	0	1	0	1	0	0
合計	96	11	9	2	3	1	1	13	3	0